

あいち農業イノベーション サミット2025

共に創る次世代の農業

先進的な取組を行う農業者、スタートアップ等によるトークセッションやあいち農業イノベーションプロジェクトの取組紹介、テーマ別分科会などのプログラムを通じて、様々なプレーヤーの共創による農業課題の解決について考えます。

2025 **2.12** wed 13:30▶17:15

会場 ■ STATION Ai 1階メインホール

定員 ■ 150名 **参加無料 / 要事前申込**

PROGRAM

13:30	オープニングセレモニー 主催者挨拶: 愛知県知事 大村秀章 / 事業概要説明	同時開催 分科会 [各テーマ先着20名] 農業現場が抱える様々なテーマについて、トークセッションの登壇者や業界をリードするスタートアップが、サミット参加者と共に議論します。
13:50	トークセッション① 農業イノベーターが考える先端技術の開発&活用のポイント パネリスト JA西三河きゅうり部会 下村 堅二氏 JAひまわりスプレーマム部会 山田 裕也氏 株式会社あさひ農園 代表取締役CEO 浅井雄一郎氏 ファシリテーター 一般社団法人AgVenture Lab 代表理事理事長 荻野 浩輝氏	
14:45	トークセッション② 開発者側から見る農業分野におけるイノベーション創出のポイント パネリスト 株式会社トクイテン 代表取締役・共同創業者 豊吉隆一郎氏 アクプランタ株式会社 取締役COO 中坂 高士氏 株式会社farmo 代表取締役 永井 洋志氏 ファシリテーター 一般社団法人AgVenture Lab 代表理事理事長 荻野 浩輝氏	1 農業ロボットって実際どう? 2 バイオスティミュラントって実際どうなの? 3 農業の担い手確保 みんなどうしてる? 4 儲かる農業経営に必要な要素は?
15:40	あいち農業イノベーションプロジェクトの取組発表 研究開発型GREEN OFFSHORE株式会社 / 株式会社ニッポンジーン 株式会社TOWING / 株式会社ミライ菜園 現場フィールド活用型有限会社杉浦発条	5 異業種からの農業参入って実際どう? 6 農業における官民連携に求めることって?
16:30	ネットワーキング 登壇者や参加者同士で自由に情報交換を行います。	「分科会」の詳細は、裏面のQRコードからご覧いただけます。

トークセッションのご案内

農業現場での新たな技術開発やテクノロジー導入などが求められるなか、先進的な経営に取り組む農業者（農業イノベーター）たちがそれぞれの経験や取組等を踏まえ、どのように生産性や収益性の向上につながる技術を開発導入していくべきかやそのために企業や自治体・農業団体等とどのように共創していくとよいかなどについて、事例を交えながら議論します。

登壇者プロフィール

トークセッション 1

農業イノベーターが考える 先端技術の開発&活用のポイント

JA西三河きゅうり部会

下村 堅二氏

生産技術エンジニアとしての経験を活かしてJA西三河のスマート農業を牽引している。キュウリ選果機の効率化やICT化、きゅうり部会におけるデータ駆動型農業の推進など、市内のキュウリ栽培農家の中でも中心的な役割を担っている。

JAひまわりスプレーマム部会

山田 裕也氏

スプレーマム栽培における施設利用率の向上、スマート農業技術の導入等による単収増加、労働時間の削減やパートタイマーの効率的な管理に取り組んでいる。第63回農林水産・園芸部門で内閣総理大臣賞を受賞。

株式会社あさい農園

代表取締役CEO 浅井 雄一郎氏

大学卒業後、経営コンサルティング会社を経て、実家の花木生産を継承し、第二創業として2008年よりミニトマトの生産を開始。農業法人経営の傍ら、三重大学大学院でトマトのゲノム育種研究に取り組み、博士号を取得。「常に現場を科学する研究開発型の農業カンパニー」を目指す。

トークセッション 2

開発者側から見る農業分野における イノベーション創出のポイント

株式会社トクイテン

代表取締役・共同創業者 豊吉 隆一郎氏

農業の効率化と低コスト化を目指して、自社開発のロボットを用いて有機ミニトマト栽培を全自動化するプロジェクトに取り組んでいる。

アクプランタ株式会社

取締役COO 中坂 高士氏

学術誌「Nature Plants」に発表した、植物の乾燥耐性を高める酢酸の作用を活用したバイオスティミュラント資材「スキープン®」を開発したアグリバイオスタートアップ。

株式会社farmo

代表取締役 永井 洋志氏

地域の課題や生産現場における困りごとに対して、センサーによる環境モニタリングから栽培管理の遠隔制御システムまで、IoTを駆使し、顧客と一緒に製品を開発する参加型の製品開発サービスを行っている。

ファシリテータープロフィール

一般社団法人AgVenture Lab

代表理事理事長 荻野 浩輝氏

農林中央金庫にて執行役員兼デジタルイノベーション推進部長等を務めた後、2019年一般社団法人AgVenture Labの立上げに伴い、同社の代表理事理事長に就任。スタートアップ企業の支援や起業家育成を通じ、農業や社会の課題解決を目指し活動している。

あいち農業イノベーション プロジェクトの取組発表 登壇企業のご紹介

【研究開発型】

GREEN OFFSHORE株式会社

鉢物の自動給液システム構築へ向けた
技術開発

株式会社ニッポンジーン

省力で安価な環境DNA濃縮検出技術の
実用化商品化

株式会社TOWING

愛知の野菜品目（キャベツ・トマト）における
高機能バイオ炭利用技術の開発

株式会社ミライ菜園

AIによる画像識別を活用した
病害虫診断技術の開発

【現場フィールド活用型】

有限会社杉浦発条

作業負荷を軽減するアタッチメントの開発

お申し込み方法

右記QRコードより入力フォームへ
お入りください



入力フォームにて必要事項をご入力の上、
参加方法および参加を希望するプログラム
をご選択ください。

応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。希望どおりの
参加方法とならないこともありますのであらかじめご了承ください。
その場合、事務局よりご連絡いたします。

お申し込み期限 / 2025年2月5日(水)

※参加受付証は発行いたしませんので、申し込み後、直接会場へお越し
ください。

※本イベントは諸事情により変更・中止する場合があります。あらかじめ
ご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報は、愛知県農業水産局農政部農業経営
課 農業イノベーション推進室(委託事業者含む)からの本報告会に
関すること以外には使用しません。

【会場のご案内】

STATION Ai

〒466-0065

愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
(JR鶴舞駅(名古屋駅から2駅)から徒歩6分)

サミットの詳細を
ご覧いただけます



<https://aichi-agri-summit2025.peatix.com>

主催 / 愛知県

事務局

愛知県農業水産局農政部農業経営課 農業イノベーション推進室(担当:市川)

E-mail: nogyo-innovation@pref.aichi.lg.jp TEL:052-954-6413(ダイヤルイン)

事務局:

有限責任監査法人 トーマツ名古屋事務所(担当:山田) / デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社

県委託先

E-mail: aichi_agri_innovation@tohmatu.co.jp